

## 第 33 回生物学技術研究会への参加報告

技術センター 塩路 恒生

### 1. はじめに (目的)

生物学の研究に携わる大学及び研究機関等の技術職員が日常関わっている研究支援活動における成果や問題点の発表を聴講し、技術の向上、交流及び情報交換を図ることを目的として参加した。

### 2. 期間・場所

期間：令和 4 年 2 月 17～18 日 2 日間

場所：オンライン開催

### 3. 参加者等

受講者：全国の技術系職員 168 名

### 4. 研修内容

1 日目 ・研修講演「定量生物学の現状と展望」

基礎生物学研究所 定量生物学研究部門 青木 一洋 教授

・ポスター口演発表 12 件

2 日目 ・ポスター口演発表 17 件

・分科会

### 5. まとめと感想

昨年度に続き、今年度も新型コロナウイルス感染症対策でオンライン開催となった。当初は、ポスター発表を予定していたが、発表形式変更となったのと準備が間に合わなかったため、今回は発表を見送った。

研修講演では、細胞内シグナル伝達系のパラメーターの定量測定についての手法を中心に講演があった。技術職員の発表については、Zoom を使った発表で、例年行われている口頭発表とポスター発表が統合されたような発表形式がとられていた。発表については、非常に興味深い内容も多く有意義に参加することができた。質疑についても活発に参加することが出来た。また、ホスト側の進行も非常にスムーズに行われており、説明も丁寧で受ける側としては安心して受講することが出来た。初日の開催前には、Zoom の参加練習の場が設定されており、そこで事前に確認することで研究会が始まってあわてることがなかった。今回、オンラインで 2 日間参加することにより、Zoom の操作に慣れることが出来、良い経験となった。